
魔法の鏡

悲劇のM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法の鏡

【Nコード】

N2697F

【作者名】

悲劇のM

【あらすじ】

王子が妃に選んだ娘。白雪の如く白い肌に、美しい容姿。王女は自分への自信を失いますが、魔法の鏡は優しく彼女を包み込みます。

王宮の一室でした。

窓からは朝の陽射しが差し込み、薄いレースのカーテンが輝きま
す。床には走れば滑って転びそうな大理石がはられ、ピカピカに光
っていました。部屋の隅にある化粧台の棚には、透き通った色をし
た様々な液体が入れたビンが何本も置いてありました。

今しがた高級な羽毛のベッドから起きたその美しい女性は、寝起
きにも関わらず眉根を吊りよせ、ひどく憤慨している様子でした。
しかしどこか気品があり、一国の女王だと言われても違和感はない
ません。事実、彼女はこの国の女王様なのでした。

彼女が怒っているのには原因があります。数週間ほど前、自分の
息子である王子の婚約者を決めるため、町中から娘が集められて王
宮の広間でダンスパーティーが開かれました。

息子の婚約者が決まるなら早いほうがいい。最高級の衣服を王子
に召かし、自分も乗り気でダンスパーティーに出席したところ、輝
くような町娘がいたのです。自分がこの世で一番美しいと思ってい
たにも関わらず、それを遥かに上回る、綺麗で若く美しい娘でした。
自分より美しいこの娘だけは王子の婚約者にしてはいけない。そ
う思っていたのに、王子はその娘を見つけるなり求婚し、娘もそれ
を承諾したのです。

早急に結婚式が行われると、娘はお妃として王室の人間になりま
した。以来自分のことを慕っていた召使達も、皆娘にべったりです。
女王はすべてが憎たらしくなりました。あの娘さえいなければ自
分がこの世で一番美しいのに。

彼女がこんなにまで自分の美しさに自信があるのには、理由があ
りました。彼女は、不思議な不思議な魔法の鏡をもっていたのです。
それは何でも知っている鏡で、その鏡に何かを聞くと、何にでも答
えてくれるのです。女王は常日頃から鏡に向かって「鏡よ鏡、この

世界で一番美しいのはだ〜れ？」と同じ文句を言い続けていました。若い男の声での「それは、女王様だ」の鏡の言葉が、女王を幸せにさせました。

しかし、今同じ質問をすると、こう返ってくるでしょう。「それは、お妃様だ」。

それでも彼女は鏡の前に向かいました。そして言い慣れた文句を言います。

「鏡よ鏡、この世界で一番美しいのはだ〜れ？」

いつもより小さい声で、悲哀が籠っているようでした。いつしか怒りは悲しみに変わり、目元には一筋の涙が光っています。

鏡からは、予想外の返事が返ってきました。

「何で泣いてんだよ」

突然のことに驚く女王ですが、慌てて答えます。

「王子が選んだ娘が、私より美しくて……」

「だから何だっていうんだよ」

え？

女王がそれを言の葉に紡ぎだす前に、鏡は続けました。

「言ってるだろ、王子の嫁がただけ美しくても、俺の一番はお前だよ」

「か、鏡……！」

女王は、しんと感涙に咽びました。やはり一番美しいのは自分。他の人がどう思っても鏡の言うことは全て正しいのです。再び自信を取り戻しました。

「な、何泣いてんだよ！ お前は、その……。笑ってるほうが可愛いつて、じ、自分で気付かねーだろ。笑顔作って俺を見るよ。可愛なお前が写ってるぜ」

（後書き）

こんなんじゃ腐女子は釣れねえぞー！
くらいでいいんで感想下さ
いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2697f/>

魔法の鏡

2010年10月28日08時38分発行